

令和4年（2022年）の安達太良山の火山活動

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2022年の発表履歴

2022年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

○ 2022年の活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～5、図6-①⑥）

若宮監視カメラ及び鉄山監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

3月に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、これまでの観測と比較して、沼ノ平火口付近及び鉄山南斜面の地熱域に特段の変化はなく、噴気は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図6-②～⑤⑦、図7、図8）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図9、図11）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

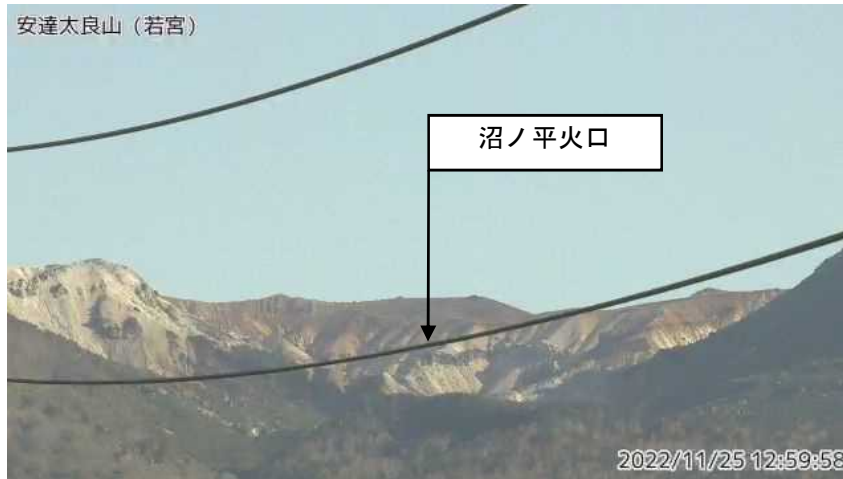


図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（11月25日）

・若宮監視カメラ（沼ノ平火口の西北西約8km）の映像です。

噴気は認められませんでした。

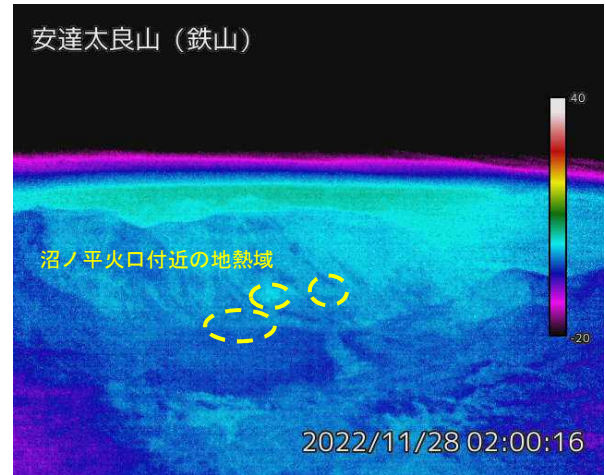


図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況と地表面温度分布（左：11月25日、右：11月28日）

・鉄山監視カメラ（沼ノ平火口の北東約700m）の映像です。

噴気は認められず、沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

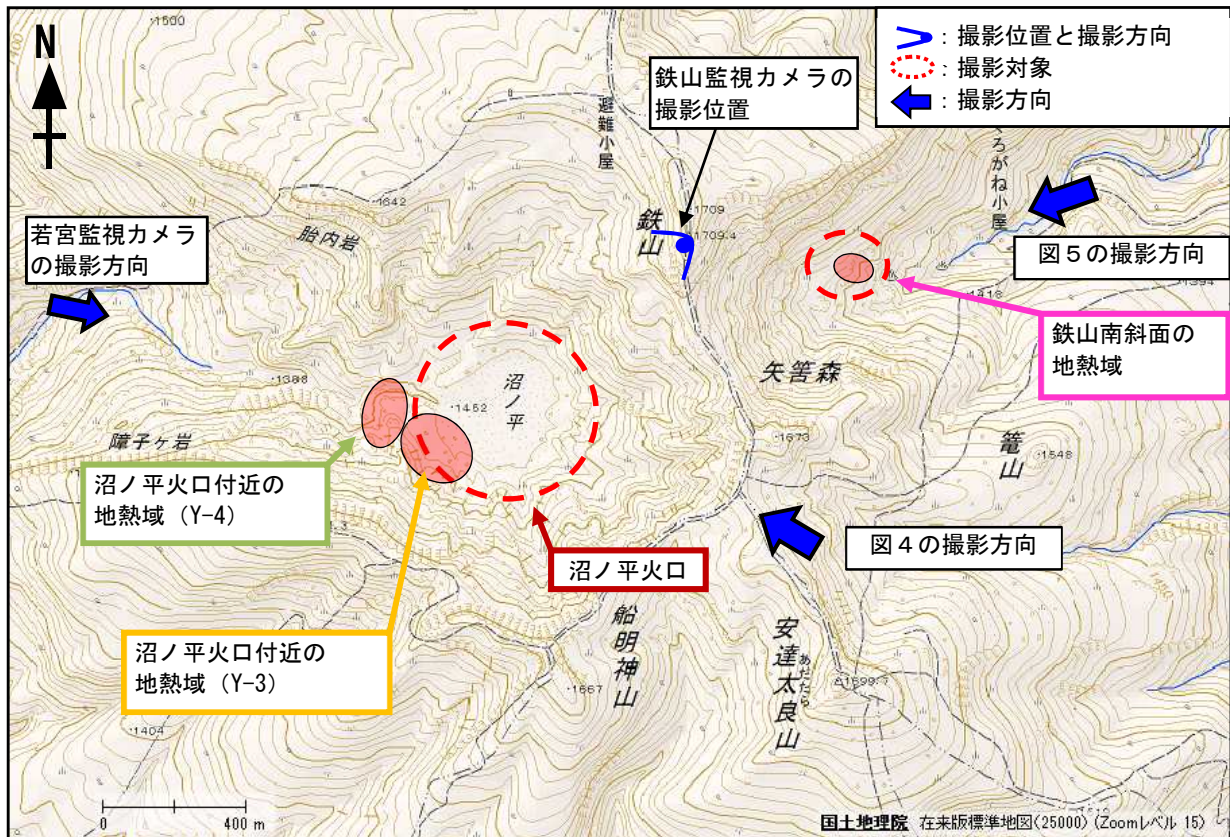


図3 安達太良山 地熱域の分布及び写真と地表面温度分布撮影位置、撮影方向

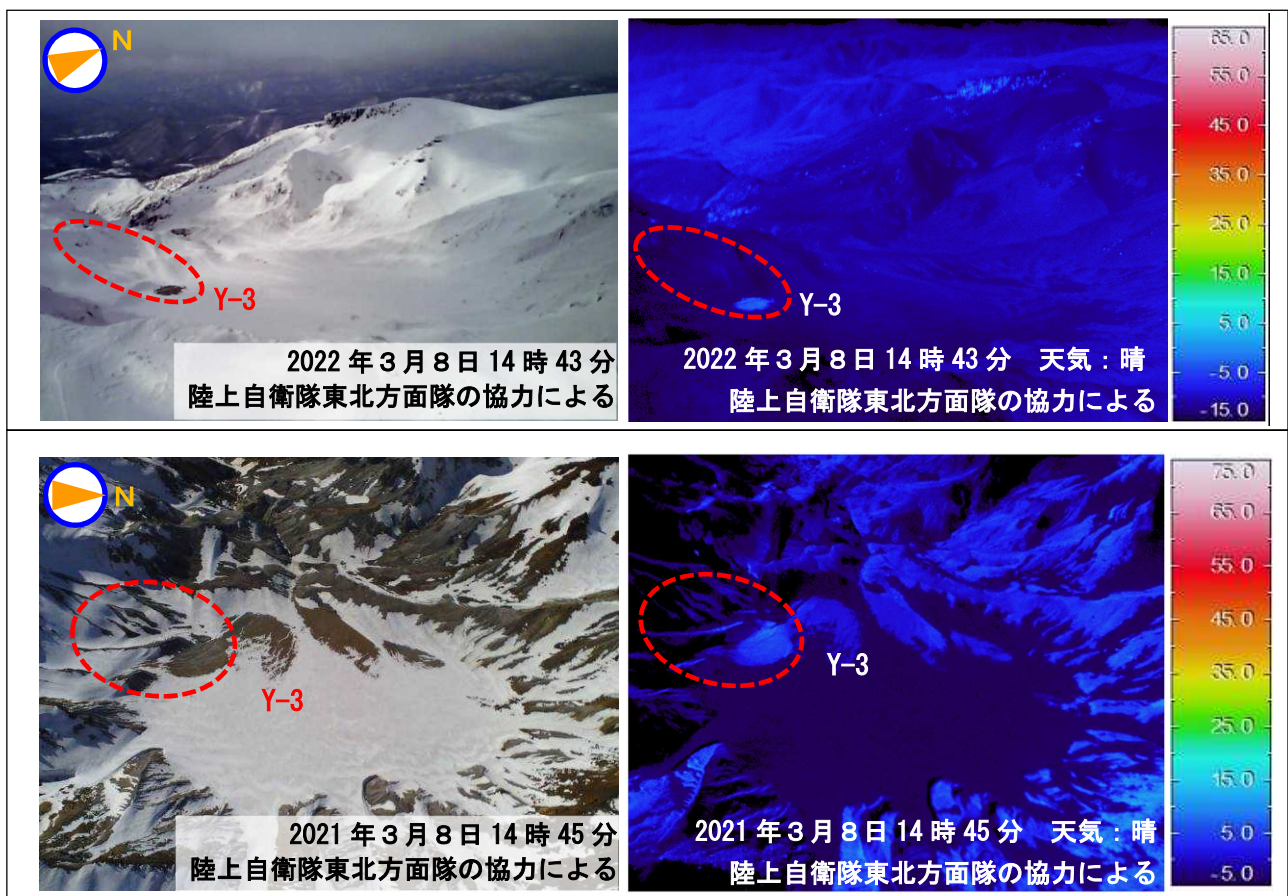


図4 安達太良山 上空から撮影した沼ノ平火口付近の状況と地表面温度分布

※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

前回の観測と比較して、地熱域（破線）の状況に特段の変化は認められませんでした。

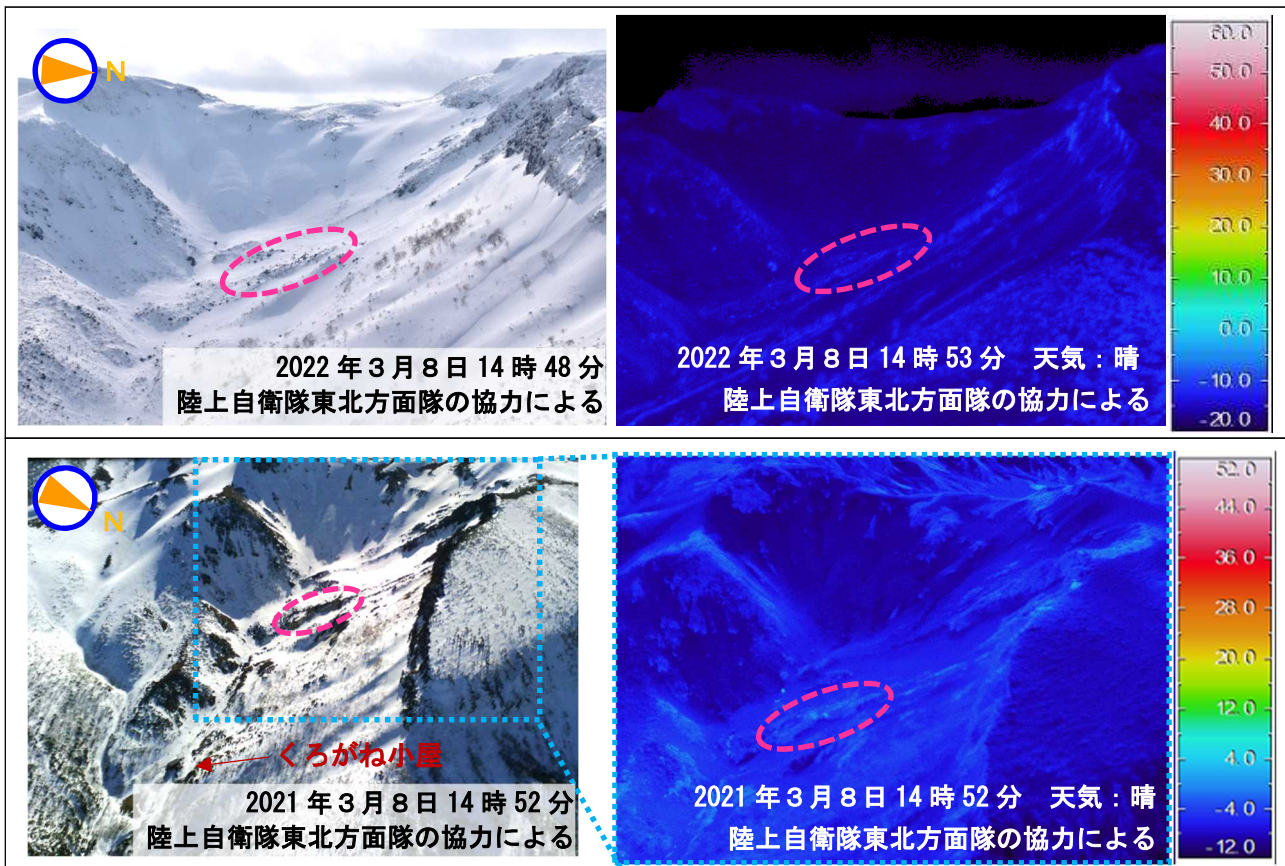


図5 安達太良山 上空から撮影した鉄山南斜面の状況と地表面温度分布

※日射の影響により、建築物（白矢印）や裸地等では表面温度が高めに表示されています。

前回の観測と比較して、地熱域（破線内）の状況に大きな変化は認められませんでした。

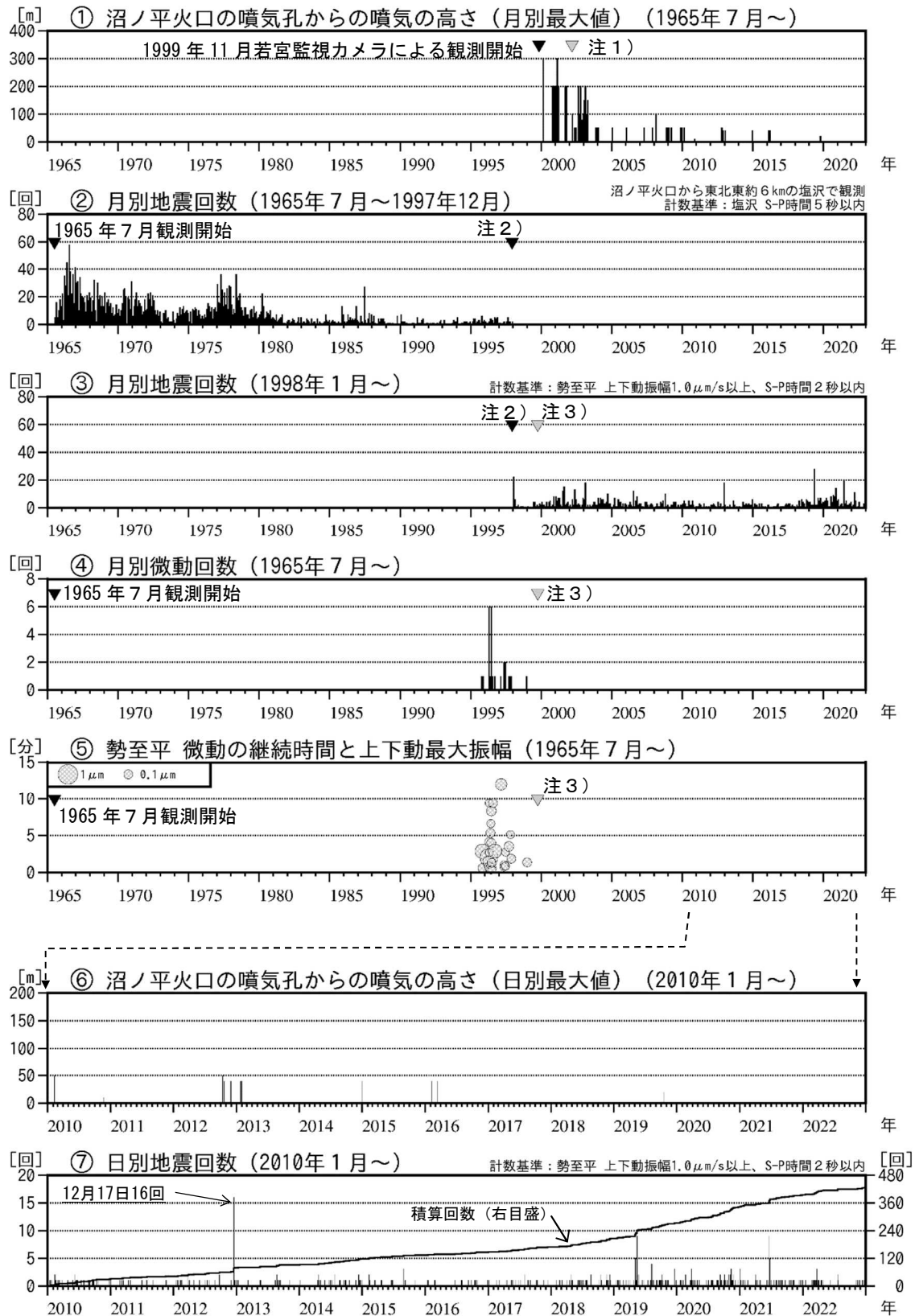
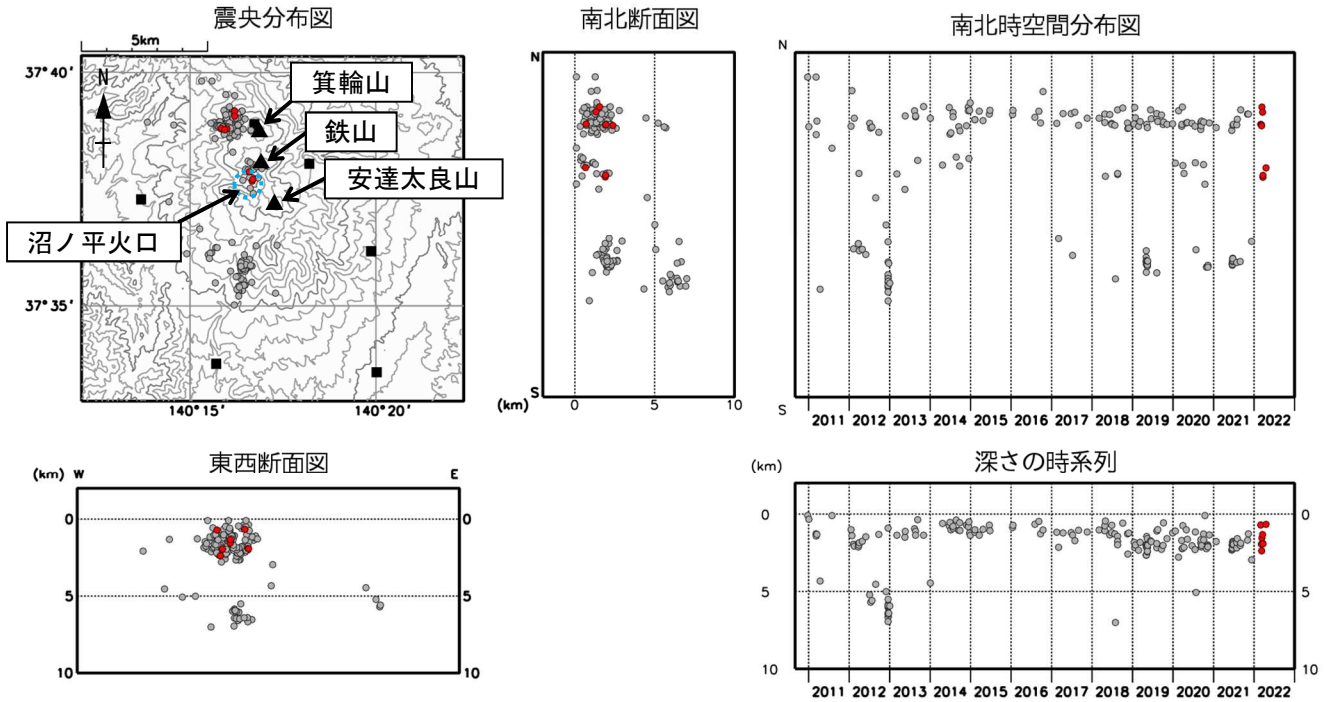


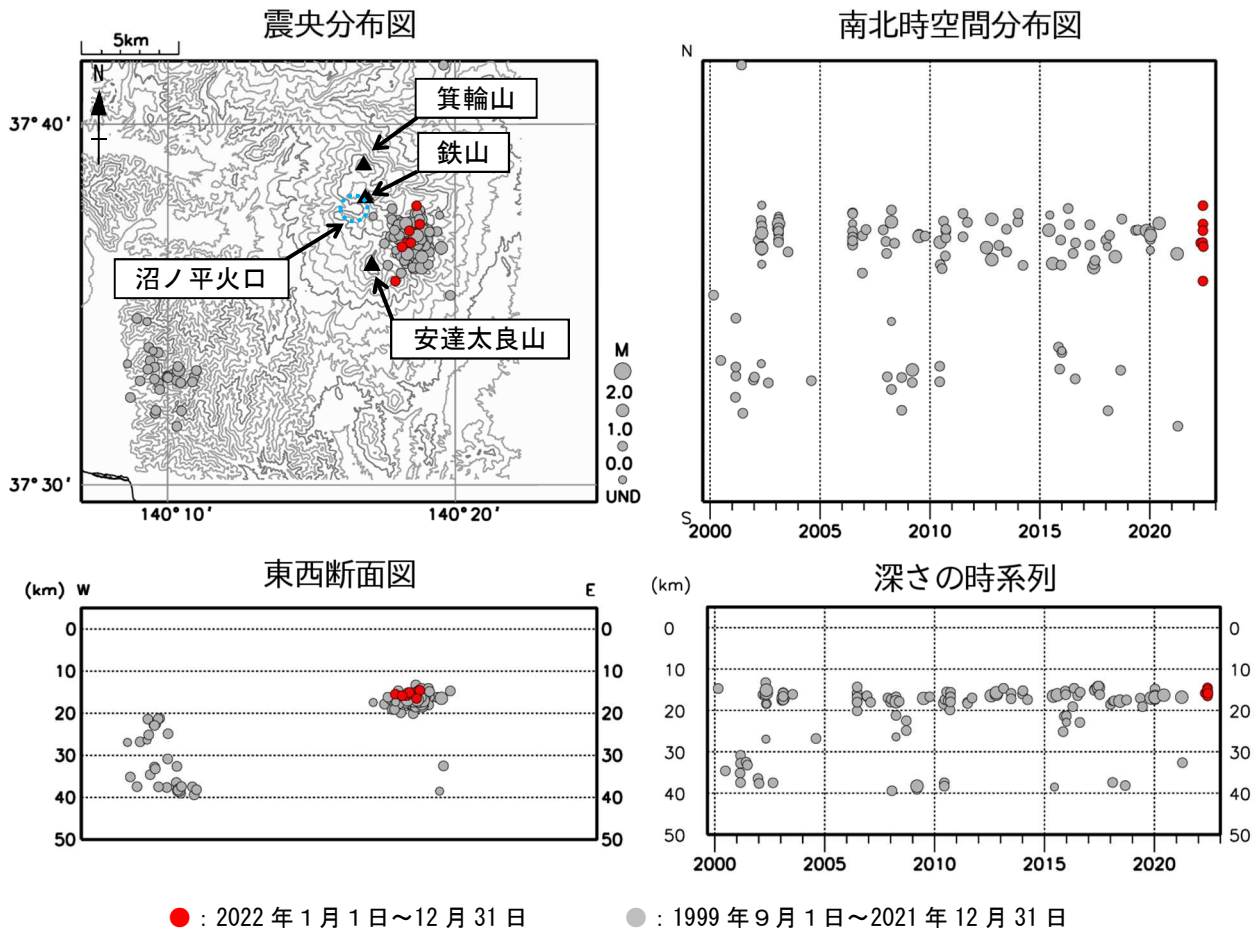
図6 安達太良山 火山活動経過図 (1965年7月～2022年12月)

- ・注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②～⑤⑦計数に使用した観測点は次のとおりです(角カッコ内は地震回数計数の計数基準)。
 観測開始 1965年7月～塩沢観測点 [S-P時間5.0秒以内]
 注2) 1998年1月～塩沢観測点 [S-P時間2.0秒以内]
 注3) 1999年10月～勢至平観測点 [振幅1.0 μ m/s以上、S-P時間2.0秒以内]

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。



● : 2022年1月1日~12月31日 ● : 2010年9月1日~2021年12月31日 ■ : 地震観測点位置
図7 安達太良山 地震活動 (2010年9月~2022年12月)
 火山性地震はこれまでと同様に、概ね沼ノ平付近や沼ノ平の北西の領域で発生しました。



● : 2022年1月1日~12月31日 ● : 1999年9月1日~2021年12月31日
図8 安達太良山 広域地震観測網による深部低周波地震活動 (1999年9月~2022年12月)

- ・ 図7、図8の水色破線は沼ノ平火口を示します。・ 2001年10月以降、検知能力が向上しています。
- ・ 2020年9月以降の震源は、地震観測点の標高を考慮する等した新手法で求められています。

深部低周波地震は主に沼ノ平の南東の領域で発生し、少ない状態で経過しました。

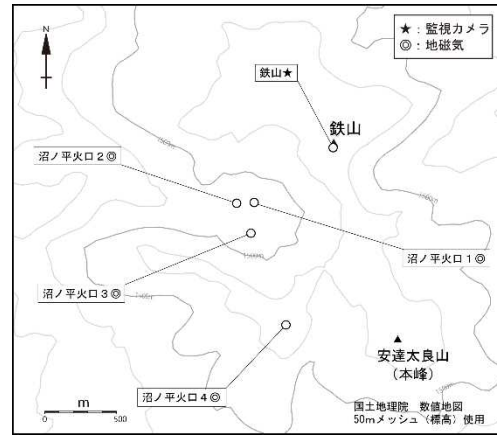
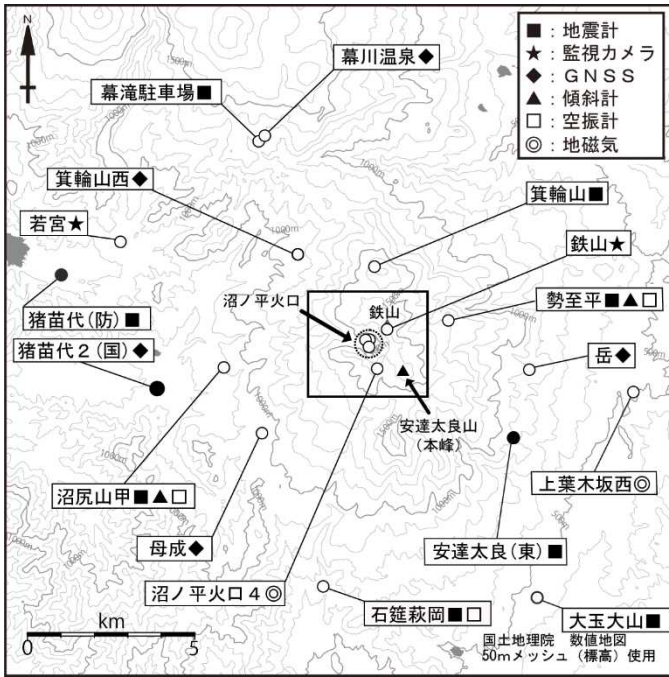


図10 安達太良山 観測点配置図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学
(防) : 防災科学技術研究所

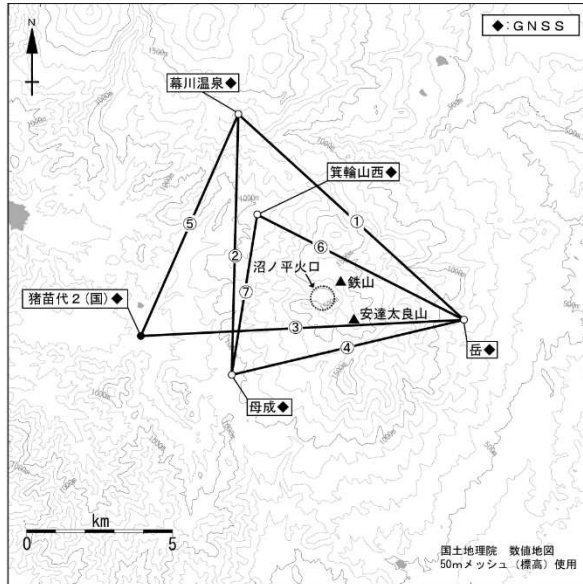


図11 安達太良山 GNSS 観測基線図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

表1 安達太良山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		北緯	東経	標高 (m)			
地震計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	-1	1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2010.09.01	
	箕輪山	37° 38.90'	140° 16.73'	1675	-2	2016.12.01	広帯域地震計
	石筵萩岡	37° 33.77'	140° 15.72'	638	-1	2017.12.04	
	幕滝駐車場	37° 41.03'	140° 14.53'	1295	-1	2012.12.01	
	大玉大山	37° 33.59'	140° 20.02'	477		2016.10.12	
空振計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	5	1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	3	2010.09.01	
	石筵萩岡	37° 33.77'	140° 15.72'	638	2	2017.12.04	
傾斜計	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2011.04.01	
	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320	-15	2016.12.01	
GNSS	母成	37° 36.24'	140° 14.46'	960	6	2001.11.01	
	岳	37° 37.25'	140° 19.85'	900	8	2001.11.01	
	幕川温泉	37° 41.05'	140° 14.61'	1291	9	2001.11.01	
	箕輪山西	37° 39.20'	140° 15.04'	1042	6	2018.03.30	
監視カメラ	若宮	37° 39.26'	140° 11.56'	819	5	1999.11.01	
	鉄山	37° 37.94'	140° 16.98'	1707	3	2016.12.01	可視及び熱映像
地磁気	沼ノ平火口1	37° 37.73'	140° 16.60'	1454	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口2	37° 37.73'	140° 16.52'	1465	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口3	37° 37.61'	140° 16.59'	1459	2	2018.06.29	
	沼ノ平火口4	37° 37.27'	140° 16.76'	1666	2	2018.06.29	
	上葉木坂西	37° 36.89'	140° 21.92'	547	2	2018.06.29	